

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和3年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市スポーツ協会		
所在地	新潟市中央区一番堀通町3-1		
代表者(職・氏名) (所属・職)	会長 中原 八一	電話番号	025-266-8250
	新潟市長	ホームページ	http://www.niigatashi-sports.or.jp/
市所管課	文化スポーツ部 スポーツ振興課	電子メール	info@niigatashi-sports.or.jp
基本財産 (基本金)	500,500 千円	設立年月日	昭和42年9月1日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	500,500 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市及びその周辺の地域におけるスポーツの普及振興に関する事業を行い、市民の体力向上を図り、スポーツ精神を養うことに寄与することを目的とする。		
経営理念 経営方針	・加盟団体及び関係機関と連携を図りながら「市民総スポーツ」を推進し、健康で明るい都市づくり実現に寄与する。 ・このために「市民スポーツ活動の普及振興」「競技力向上」「組織・財政基盤の確立」を柱とした関係事業を推進していく。		

2. 主要事業

事業名①	講習会・研修会						
事業概要	(概要) 運動を通しての健康づくりに関する取組みの一助とするとともに、機運の醸成を図ることを目的とし、全市民を対象に講習会、研修会を開催するほか、加盟団体指導者の育成を行うために講習会、研修会を開催する。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 働き世代や高齢者がスポーツに親しむことで、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸などに貢献することができる。 また、スポーツ指導者の資質向上により、子ども達が安心・安全にスポーツを楽しめる環境を整備し、子どもの運動の習慣化や競技力向上に寄与する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	60	39	266	930
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民スポーツ講習会参加者数 ※R1まで「主催事業：健康・体力づくりのつどい」の一部を掲載。	R3	人	100				
	R2	人	100	0	R2年度より、市民スポーツ講習会として独立した事業として実施予定で計画値を変更したが、コロナ禍により中止したため。		
	R1	人	2,200	1,260	雨天によりイベント全体の参加者数が減少したため。		
	H30	人	2,200	1,210	雨天により一部中止となったため。		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
指導者研修会参加者数	R3	人	100				
	R2	人	100	12	コロナ禍のためオンライン(Zoom)開催としたため、参加者の心理的・環境的要因で参加のハードルが高かったと考えられる。		
	R1	人	100	0	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止		
	H30	人	100	57	午前・午後の部制で実施したが、研修時間が長くなったため競技団体等と日程の都合がつかず、集客に繋がらなかったため。		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
スポーツ体験会等推進事業実施種目数	R3	種目	10				
	R2	種目	5	5	初めての取り組みで、競技団体からの反応は鈍かったが、個別に相談して実施を呼びかけたため。		
	R1	-	-	-			
	H30	-	-	-			
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価		コロナ禍でも工夫して一部開催することができた。今後はオンラインでも参加者を増やせるような取り組みを検討し、環境整備に努めてほしい。					

2. 主要事業

事業名②	主催（共催）事業						
事業概要	<p>(概要) 当協会および新潟市・加盟競技団体・各実行委員会が主催・共催となり、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を目的として、各種スポーツ大会を開催する。</p>						
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 子どもから高齢者までスポーツに親しむ環境を整備することで、スポーツの習慣化を促し、心身ともに健康で豊かな生活の形成に寄与する。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（予算）
公益事業	自主事業	支出額	千円	3,456	3,478	1,551	3,704
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民総合体育祭 参加者数	R3	人	8,000				
	R2	人	19,000	3,905	コロナ禍で春季・秋季大会ともに中止した競技大会が多かったため。 春季 1種目（前年26種目） 秋季 21種目（前年28種目）		
	R1	人	19,000	17,000	秋季大会が天候不順や新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となったため。		
	H30	人	19,000	16,741	主管する加盟団体の都合により、実施大会数が昨年比で2種目減のほか、天候等により一部中止となったため。		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民サッカー大会 参加者数	R3	人	1,200				
	R2	人	1,200	0	選手同士の接触を避けられないことから中止したため。		
	R1	人	1,200	1,260			
	H30	人	1,200	1,240	カテゴリーの見直しによる参加者数の増によるもの。		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民綱引き大会 参加者数	R3	人	700				
	R2	人	700	0	屋内競技で参加者が多く、密が避けられないことから中止したため。		
	R1	人	700	780			
	H30	人	700	918	30回記念種別の増設のため。		

活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
市民ゴルフ大会 参加者数	R3	人	150		
	R2	人	150	0	コロナ禍のため、ゴルフ場と協議して中止としたため。
	R1	人	300	274	夏季・秋季大会の日程が近く、参加者が集まらなかったため。
	H30	人	300	270	他のゴルフ大会と日程が重複したため。
活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
スポーツ体験フェスタ（旧：健康・体力づくりのつどい） イベント参加者数	R3	人	700		
	R2	人	1,000	600	コロナ禍のため、事前申込制として参加者数を制限したため。
	R1	人	2,600	1,700	雨天のため全体的に参加者数が減となったため。
	H30	人	2,600	1,650	雨天により一部中止となったため。

**所管課の関わり及び
主要事業にかかる評価**

中止になった事業も多いが、人数を制限するなど、可能な範囲で大会開催等実施することができた。今後は「withコロナ」時代に向けた運営方法の検討に取り組んでもらいたい。

2. 主要事業

事業名③		ジュニア強化事業					
事業概要	(概要)	競技水準向上のため、ジュニア強化事業に関わる経費を助成し、加盟団体が行うジュニア層の育成強化等の事業に寄与する。					
	(市政へどのように寄与・貢献するのか)	子ども達が競技スポーツに取り組むことは、自己責任や克己心、コミュニケーション能力の育成など子どもの人格形成に大きく影響することから、明るく豊かな市の実現に寄与する。 また、当該事業で育成された選手がオリンピック等で活躍する姿は、市民に夢や感動、希望や勇気を与えると同時に、本市を国内外に広くアピールすることができる。					
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	9,521	9,700	8,840	10,000
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
ジュニア強化事業 実施団体数	R3	団体	27				
	R2	団体	27	27	コロナ禍で県外遠征ができないなど制約はあったが、全団体が実施したため。		
	R1	団体	27	27			
	H30	団体	27	27			
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
にいがたスーパー ジュニア育成事業 実施団体数	R3	団体	3				
	R2	団体	3	3	コロナ禍で県外からの講師招聘ができないなど制約はあったが、全団体が実施したため。		
	R1	団体	3	3			
	H30	団体	3	3			
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
医科学サポート 事業実施団体数	R3	団体	3				
	R2	団体	3	3	講師が県内在住であることや県医科学センターを活用することで通常どおり事業が実施できたため。		
	R1	団体	3	3			
	H30	団体	3	3			
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価		計画通り達成することができた。引き続き競技力向上のため、加盟団体が行うジュニア層の育成強化に努めてほしい。					

2. 主要事業

事業名④	スポーツ少年団普及育成事業						
事業概要	(概要) スポーツを中心とした活動を通じて、子どもたちの健全育成や地域内の交流の活性化及び生涯を通じてスポーツを楽しむ基盤をつくる。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツ少年団は、子ども達が地域社会で幅広いスポーツ活動を行う集団として活動している。核家族化や地域の間人関係が希薄になるなかで、様々な他者との関わり、子どもの存在と頑張りを認める団体を育てることは、運動の習慣化や体力向上はもとより、子どもたちの健全育成に寄与する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	9	17	8	440
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
指導者及び団員数		R3	人	2,700			
		R2	人	2,700	2,136	コロナ禍で大会が中止となったことから、当該年度の登録を見送る団体があったため。	
		R1	人	2,700	2,576		
		H30	人	2,700	2,642	少子化等の影響による団員の減少や単位団の解散・統合のため。なお、県全体の登録者数も減少している。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	コロナ禍において、約80%達成することができた。子どものスポーツ推進は重要な位置づけとなることから、計画を達成できるよう取り組みを強化してほしい。
---------------------	---

2. 主要事業

事業名⑤	助成事業						
事業概要	(概要) スポーツの普及振興並びに、その健全な発展を図ることを目的としたスポーツ大会に要する経費を助成する。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツ大会・イベントを実施することにより、参加者の健康・維持増進はもとより、市民の交流や地域の活性化に寄与する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	120	20	0	50
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
大会参加者数		R3	人	400			
		R2	人	400	0	助成事業の申請がなかったため。	
		R1	人	400	400	(公財)新潟観光コンベンション協会のMICE補助金による助成に切り替えているなかで、事業規模を見直したため。	
		H30	人	2,000	1,880	野球大会・水泳大会の参加者数減のため。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3	件				
		R2	件				
		R1	件				
		H30	件				
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価			大会の開催中止等の影響で実績がなかったが、実施者とヒアリング等を行い、次年度以降実施できるような取り組みを検討してほしい。				

2. 主要事業

事業名⑥		表彰					
事業概要	<p>(概要) 年間を通して顕著な活躍をおさめたジュニア選手に対し表彰を行うほか、本市において1年間で最も活躍したスポーツ選手を表彰するスポーツグランプリ表彰を実施する。また、長年に渡り賛助会員として協力をいただいている個人や団体を表彰している。</p>						
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 優秀選手等の表彰を行うことで、ジュニア層の競技力向上に寄与し、本市からオリンピックなど世界へ羽ばたく選手の育成に繋がる。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	459	529	21	550
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
ジュニア優秀 競技者表彰 【受賞者数】	R3	人	40				
	R2	人	30		2	コロナ禍のため、全国高校総体をはじめ、多くの全国大会・国際大会が中止となったため。	
	R1	人	90		36	団体種目の入賞が少なかったため。	
	H30	人	65		88	団体種目が多数入賞したため。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
	R3	件					
	R2	件					
	R1	件					
	H30	件					
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
	R3						
	R2						
	R1						
	H30						
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価			コロナの影響により大会等の活躍の場がなく、表彰は僅かだったが今後も継続されることを期待している。				

2. 主要事業

事業名⑦		国際交流事業					
事業概要	(概要) 加盟団体が友好親善及び競技力向上のために開催するイベントに対し支援を行う。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) スポーツを通じた国際交流は、スポーツの普及・発展はもとより、諸外国との相互理解と友好親善に寄与する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	0	17	0	300
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
支援件数		R3	件	2			
		R2	件	2	0	東京2020オリンピック・パラリンピックが延期され、市内における海外選手団の事前合宿が中止されたため。	
		R1	件	3	2	予定していたアーチェリーの交流会が1件中止となったため。	
		H30	件	2	2		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					

所管課の関わり及び
主要事業にかかる評価

コロナ禍では対面の実施は当面難しい状況だが、今後はオンライン等も検討して実現可能な事業に尽力してもらいたい。

2. 主要事業

事業名⑧	広報活動						
事業概要	(概要) 会報誌の発行とホームページの活用により、本協会の活動と取組みの周知拡大、ならびに協会内外の情報交換の迅速化を図る。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 会報誌やホームページを通じ、本市のスポーツ活動や当協会の取組みを発信することで、市民にスポーツを身近に感じてもらい、スポーツ参画人口の拡大に寄与する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	426	472	605	710
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
ホームページ アクセス数		R3	件	25,000			
		R2	件	25,000	19,891	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったため。	
		R1	件	25,000	21,425	新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業が中止となったため。	
		H30	件	25,000	17,890	8月ドメイン変更・ホームページリニューアル。URLが変更になった事により、SEOにも影響を及ぼしたため。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
機関紙「躍動」 発行部数		R3	冊	2,500			
		R2	冊	-	2,500	紙面の全面リニューアルにより、PRのため設置・配布場所を増やしたため。	
		R1	冊	-	2,200		
		H30	冊	-	2,200		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価			機関誌については紙面リニューアルなどにより更なる認知拡大に努めた。ホームページにおいても、利用者視点に立ち、改善を検討してほしい。				

2. 主要事業

事業名⑨		区スポーツ協会支援事業					
事業概要	(概要) 地域に密着したスポーツ振興の中核となる区スポーツ協会の運営費用を補助する。						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 健康スポーツから競技スポーツまで、地域に密着しながら幅広く本市のスポーツ振興に寄与することができる。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
公益事業	自主事業	支出額	千円	4,342	4,340	4,340	4,340
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
大会等参加者数		R3	人	30,000			
		R2	人	40,000	13,803	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったため。	
		R1	人	40,000	38,000	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったため。	
		H30	人	40,000	45,000	事業数は概ね変わらないが、内容の充実等により大会毎の参加者数が増加しているため。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
		R3					
		R2					
		R1					
		H30					
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価			各区スポーツ協会を通じて地域に密着したスポーツ振興に寄与した。				

2. 主要事業

事業名⑩	後援会業務受託事業（収益事業）						
事業概要	<p>(概要) プロ・アマ問わず本市出身のトップアスリートの後援会事務を受託し、その選手を活用した事業を展開することにより、市民に夢や感動を与え、本市のスポーツ振興における「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の推進を図る。 なお、事業実施における利益は、公益目的事業に活用する。</p>						
	<p>(市政へどのように寄与・貢献するのか) 本市出身の選手を活用した事業を展開し、市民・県民全体で応援することにより、本市のスポーツ振興における「みるスポーツ」「支える」スポーツの推進を図ることができる。</p>						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（予算）
収益事業	自主事業	収入額	千円	-	-	267	1,200
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
豊山新潟後援会 会員数 【個人・家族】		R3	人	300			
		R2	人	300	208	コロナ禍のため発足が12月に遅れたため。	
		R1	人	-	-		
		H30	人	-	-		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
豊山新潟後援会 会員数 【法人・団体】		R3	円	50			
		R2	円	50	31	コロナ禍のため発足が12月に遅れたため。	
		R1	円	-	-		
		H30	円	-	-		
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
収益事業会計の 収支差額		R3	千円	1,200			
		R2	千円	1,200	-59	後援会発足の遅れにより、事務委託料が月割計算となり、人件費等のコストが収入を上回ったため。	
		R1	千円	-	-		
		H30	千円	-	-		
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価			新規事業として開始したばかりだが、「みる」「支える」それぞれから事業を推進してほしい。				

3. 組織等の状況

(1) 役員数の状況

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数	28	28	28	28
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB	1	1	1	1
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	27	27	27	27
市兼任	3	4	4	4
市職員OB		1	1	1
他団体兼任				
その他	24	22	22	22
職員数	4	4	5	5
常勤	2	1	2	2
市派遣	1			
市職員OB				
プロパー職員	1	1	2	2
他団体からの派遣				
非常勤	2	3	3	3
市兼任		1		
市職員OB			1	1
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	2	2	2	2
見直し等の取組み	市嘱託職員引き上げに伴う固有嘱託職員の採用(2名)		市方針により市兼任を協会職員に切り替えたほか、プロパー職員1名を採用	

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
職員の状況	管理職			
	一般職	3	3	5
	合計	3	3	5
年齢構成	20代以下	2	1	
	30代		1	2
	40代			
	50代			1
	60代以上	1	1	2
	合計	3	3	5

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般正味財産増減の部	経常収益	38,397	39,380	47,769
	基本財産運用益	6,422	6,533	6,533
	特定資産運用益			
	受取会費	1,946	1,987	2,115
	事業収益	0	0	267
	自主事業収益			
	受託事業収益			267
	受取補助金等・負担金	28,253	28,908	37,927
	その他経常収益	1,776	1,952	927
	経常費用	36,951	38,448	42,101
	事業費	29,834	30,965	34,139
	公益目的事業費	29,834	30,965	33,813
	収益目的事業費			326
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			326
	法人会計			
	管理費	7,117	7,483	7,962
	評価損益等調整前当期経常増減額	1,446	932	5,668
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			0
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等			0	
当期経常増減額	1,446	932	5,668	
経常外収益			0	
経常外費用			0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,446	932	5,668	
一般正味財産期首残高	6,053	7,499	8,431	
一般正味財産期末残高	7,499	8,431	14,099	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			0
	その他			0
	基本財産評価損益			0
	特定財産評価損益			0
	一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額	0	0		
指定正味財産期首残高	500,500	500,500	500,500	
指定正味財産期末残高	500,500	500,500	500,500	
基金増減の部	基金受入額			0
	基金返還額			0
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			0
	基金期末残高	0	0	0
正味財産期末残高		507,999	508,931	514,599

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	13,167	14,159	20,372
役員分	3,573	3,682	3,791
職員分	9,594	10,477	16,581

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産の部	資産の部合計	508,605	509,235	515,340
	流動資産	8,105	8,735	14,840
	現金預金	8,105	8,093	14,835
	未収金		612	
	有価証券			
	その他流動資産		30	5
	固定資産	500,500	500,500	500,500
	基本財産	500,500	500,500	500,500
	特定資産			
	その他固定資産	0	0	0
	有形固定資産			
無形固定資産				
その他投資等				
負債の部	負債の部合計	606	304	741
	流動負債	606	304	741
	短期借入金			
	その他流動負債	606	304	741
	固定負債	0	0	0
長期借入金				
その他固定負債				
正味財産の部	正味財産の部合計	507,999	508,931	514,599
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	500,500	500,500	500,500
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	500,500	500,500	500,500
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	7,499	8,431	14,099
	代替基金			
その他一般正味財産	7,499	8,431	14,099	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)				
負債の部及び正味財産の部合計		508,605	509,235	515,340

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市財政支出等の合計	27,592	28,296	37,502
補助金	27,592	28,296	37,502
負担金			
交付金			
委託料	0	0	0
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

当協会の主催事業は、所管課から移管された公共性の高い事業が多く、補助金なしでは実施が困難であることから、本市が策定するスポーツ推進計画における「健康スポーツ」「競技スポーツ」の推進・発展のためにも財政支出が必要不可欠である。

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
純資産	507,999	508,931	514,599
公益目的保有財産	▲ 500,500	▲ 500,500	▲ 500,500
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲	▲	▲ 0
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲ 0
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲	▲	▲ 0
拠出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲ 0
遊休財産額	7,499	8,431	14,099

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常損益		1,446 千円	932 千円	5,668 千円
自己資本比率	純資産	99.9 %	99.9 %	99.9 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	1337.5 %	2873.4 %	2002.7 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	98.5 %	98.3 %	97.3 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）		7,499 千円	8,431 千円	14,099 千円
公益目的事業比率	公益目的事業費	80.7 %	80.5 %	80.3 %
	公益・収益目的事業費＋管理費			
遊休財産水準	公益目的事業費	3.98	3.67	2.40
	遊休財産額			
資金運用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> ① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。		<input type="checkbox"/>
基本財産としての 有価証券の保有		<input type="checkbox"/> ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/> ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。		<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/> ④ 元本割れのリスクはない。		<input type="checkbox"/>

（2）団体の自立性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	50.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	71.9 %	71.9 %	78.5 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	48.1 %	48.7 %	59.4 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	-	-	-
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
職員1人当たり 売上高	事業収益	0 千円	0 千円	53 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	事業活動収支差額	362 千円	233.0 千円	1,134 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	19.3 %	19.5 %	18.9 %
	経常費用			
職員1人当たり 管理費	管理費	1,779 千円	1,871 千円	1,592 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	34.3 %	36.0 %	42.6 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	27.1 %	26.0 %	18.6 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
●	有 計画名称 [将来構想] 計画期間 平成27年度～ 34年度
概要・数値目標	
(公財)新潟市スポーツ協会(当時:体育協会)の更なる発展を目指し「夢・理想・使命」を掲げ、今後10年を展望した「将来構想」を策定した。4つの重点目標(①選手強化 ②スポーツの普及振興 ③組織基盤の確立 ④体協会館の設置検討)の実現を目指して、事業を展開する。	
	無

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度～ 依頼先職種 []	●	有 依頼時期 平成24年度～ 依頼先職種 [税理士法人]
●	無		無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 平成23年度～ 公益法人の会計基準に準じた事務処理の改善、実施
	無

④ 人材育成の取組み	
●	有 取組内容 平成28年度～ 職員に日本スポーツ少年団認定員養成講習会など業務に関する講習を受講させた。
	無

⑤ 情報公開に関する規程の整備状況					
●	有 策定時期 平成13年度～ 規定名称 [(公財)新潟市スポーツ協会情報公開規程]	団体ホームページ掲載	●	定款等	平成20年度～
	無 未整備理由		●	事業内容	平成20年度～
			●	役員名簿	平成20年度～
			●	役員報酬	平成24年度～
			●	事業報告	平成20年度～
			●	正味財産増減計算書	平成24年度～
			●	貸借対照表	平成24年度～
			●	事業計画書	平成20年度～
		●	予算概要	平成20年度～	

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中
 E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		市主催事業の受託可能性も含め、収益事業を検討し、自主財源確保を目指して欲しい。					
改善のために取り組んだ内容		令和2年度から収益事業として後援会業務受託事業を開始した。					
取組みによる成果		後援会設立が12月に遅れたことから、初年度に利益を出すことはできなかった。					
改善・対応区分		A	B	● C	D	E	
改善に向けた取組み	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		計画	-	4,000千円	4,000千円	4,000千円	
	実績	-	2,700千円				
	後援会費総額	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 設立が遅れたことから、目標額には達しなかった。 今後の見込みは、選手本人の活躍次第ではあるが、現状では総額4,000千円の達成は困難。				
		今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 後援会が立ち上がったばかりで知名度が低いため、新規会員の獲得が課題である。				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 スポーツイベントやマスコミへの出演などPRの手段を検討する。				
	オリンピック支援自販機	計画	900千円	1,000千円	800千円	900千円	
		実績	1,057千円	693千円			
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍で人の移動が減ったことから、自販機の売上が減少したと考えられる。 東京2020オリンピック・パラリンピック終了後は契約が終了となる可能性がある。				
		今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 東京2020オリンピック・パラリンピック終了後の財源確保。				
課題への対応		【今後の課題への対応】 東京2020オリンピック・パラリンピック終了後に所管課と協議を進める。					

改善指示事項		団体の運営に必要な自主財源の総額を明確にし、その確保に向けて年度ごとの合理的な目標額を設定する必要がある。						
改善のために取り組んだ内容		市の方針として、令和4年度以降は事業補助金が停止され、不足分を基本財産から取り崩すことになるため、財務委員会を開催して基本財産の運用方法など今後の課題を確認したが、具体的な目標額の設定には至らなかったため。						
取り組みによる成果		目標額の設定ができていないため、令和4年に実施期間が終了する将来構想の第2期計画を策定するうえで、併せて検討を進める。						
改善・対応区分		A	B	C	●	D	E	
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	経常収益（市補助金を除く）	計画	-	12,130千円	10,776千円	11,000千円		
		実績	11,084千円	10,267千円				
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 新規賛助会員の獲得に努め、賛助会費は増額となったが、コロナ禍で企業協賛が得られず目標には達しなかった。 今後の自主財源確保は、コロナ禍での社会情勢にもよるが難しい状況である。						
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 賛助会員や企業協賛以外の自主財源の確保。						
	課題への対応	【今後の課題への対応】 県や国の補助金制度の活用や、指定管理者制度への参入など今後検討する必要がある。						
	収支差額	計画	-	-844千円	-3,720千円	-1,000千円		
		実績	932千円	4,210千円				
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍で各種事業が中止となり、支出が少なかった。 今後も事業の中止等があれば経費の支出が少ない状態が続くと考えられる。					
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 コロナ禍で各種事業が中止となり、スポーツ振興が停滞すること。					
課題への対応		【今後の課題への対応】 コロナ禍の影響が続くようであれば、各種事業の実施形態を再検討する必要がある。						

改善指示事項		スポーツ活動の促進やスポーツ人口の増加促進など、団体の設立趣旨に即した事業をより積極的に検討・実施すべきである。						
改善のために取り組んだ内容		令和2年度から未経験者を対象とした「スポーツ体験会等推進事業」を開始した。						
取り組みによる成果		当事業をきっかけに競技スポーツを始める子どもがいたほか、加盟競技団体におけるジュニア選手発掘の機運醸成ができた。						
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E	
改善に向けた取り組み	評価指標	実施事項		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		市民総合体育祭参加者数	計画	19,000人	19,000人	8,000人	-	
			実績	17,000人	3,905人			
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍で中止した競技大会が多く、目標に達しなかった。 活動を再開する競技団体が増えているため、今後は少しずつ参加者数が増える見通しである。					
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 コロナ禍で密を避けるために大会の参加人数が制限されること。					
		課題への対応	【今後の課題への対応】 会場や時期を分散して開催するなど開催方法の検討が必要と考える。					
		体験会等実施回数	計画	-	5	10	10	
			実績	0	5			
			進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 初めての取り組みで加盟競技団体からの反応は鈍かったが、個別に声かけをすることで目標は達成した。 今後は、体験できる競技数を増やすことを検討している。				
			今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 加盟競技団体からの協力体制。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 ジュニア選手の発掘に取り組めていない加盟競技団体への事業周知を行う。							

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	従来からの課題であった収益事業をスタートしたほか、各補助金の活用や新規賛助会員の拡充により、着実に自主財源確保に取り組んでいる。 市の方針により、令和4年度から市補助金(事業費相当分)が停止されることから、今後は各種事業のコスト見直しと新たな自主財源の確保について検討していく。
団体の自立性	平成28年度と令和2年度にプロパー職員を各1名採用することができ、将来構想で掲げる目標に向けて一歩前進した。 今後は、採用した人材を育成するために、スポーツ指導に関する資格等の取得を促進し、専門性を生かした自主事業を検討していく。
経営の効率性・適正性	平成28年度から大会助成金の見直しや各区スポーツ協会補助金の平準化に着手している。 また、イベント・大会へのスポンサー探しなど、コロナ禍で厳しい状況ではあるが、継続して地元企業に協賛を募る。
その他	夢・理想・使命を掲げて策定した将来構想の最重点目標である、本市からオリンピック選手輩出に向けた取組みとして平成28年度より実施している「にいがたスーパージュニア育成事業」を中心に、医科学サポート事業と連帯を図りながらジュニア選手の育成・強化を積極的に推進する。

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>長年課題であったプロパー職員の採用・増員のほか、自主財源確保に向けた収益事業の開始など組織基盤の強化に向けた取り組みを行い、その成果が少しずつ表れている。 今後も、将来構想の実現に向けて、その核となる「市民スポーツ活動の普及・振興」「競技水準の向上」「組織・財政基盤の確立」の3つを柱として、公益目的事業を積極的に推進していく。</p>

【所管課による評価】

<p>既存事業の見直しや新規収益事業による新たな自主財源の確保、プロパー職員の採用による組織基盤の強化に着実に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年は事業の中止が相次いだ。限られた経営資源の中で中長期計画「将来構想」の実現に向けて実効的な事業実施を期待したい。</p>
--

【総合評価】

概ね良好	● 改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保に向けて後援会業務受託事業を開始したことは評価できる。 ・スポーツ人口の増加促進について、コロナの影響等によって計画数等を達成できていないものの、未経験者を対象に事業を開始したことは評価できる。 ・今後は、継続して自主財源の確保に取り組むことに加え、より一層のスポンサー企業の確保やその目標額の設定について団体にて協議が必要である。 			
改善指示事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・運営に必要となる自主財源の額を明確化し、年度ごとに目標額とその確保に向けた手法を検討する必要がある。 ・新潟市開発公社が実施する事業と目的や対象が重複しないよう留意する必要がある。 			

【総合評価を受けての団体としての決意】

令和4年2月18日 専務理事 木津 茂
<p>設立目的の達成に向けて策定した『将来構想』に掲げる「スポーツの普及・振興」「選手強化」「組織基盤の確立」を推進するため、令和2年度からスタートした幼児等の未経験者を対象としたスポーツ体験会の拡充を図る。</p> <p>また、令和4年度から市補助金のうち事業費分が停止されることから、収益事業を軌道に乗せるとともに自主財源の確保に向けて計画的に取り組んでいく。</p>

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項		運営に必要となる自主財源の額を明確化し、年度ごとに目標額とその確保に向けた手法を検討する必要がある。				
評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	自主財源額・比率	計画	-	検討	計画の目標値	計画の目標値
		実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 単年ごとに目標は設定しているが、中・長期的な財務計画は策定していない。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 令和4年度に第2期（公財）新潟市スポーツ協会将来構想を検討するうえで、持続可能な協会運営に向けて自主財源の額を明確にしていく。また、財務委員会を毎年開催して、具体的な財源確保の方法を検討し、改善に努める。					

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項		新潟市開発公社が実施する事業と目的や対象が重複しないよう留意する必要がある。				
評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業内容の再検討	計画	-	調査	見直し	見直し
		実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 当協会の「市民スポーツ講習会」と新潟市開発公社の「スポーツ教室」について、目的や対象を改めて整理する必要がある。				
課題への対応	【今後の課題への対応】 新潟市開発公社の事業について調査したうえで、当協会における当該事業の必要性を検討し、必要に応じて見直し・廃止等を検討する。					